

赤十字かごしま

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

発行所
日本赤十字社鹿児島県支部
〒890-0064
鹿児島市鴨池新町1番5号
TEL 099-252-0600
第185号 平成22年10月発行

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

土砂災害に対する避難住民への対応：南大隅町

平成22年7月5日(月)に南大隅町船石川で土砂災害が発生したことから、周辺住民(50世帯91人)に避難勧告が発令されました。これを受けて、日赤県支部は、避難所である南大隅町老人福祉センター及び川南地区集会施設に以下の救援物資を輸送・配分し、さらに長期化する避難生活を支援するため、南大隅町の地域赤十字奉仕団も毎日炊き出しを行いました。また、赤十字奉仕団県支部委員会と県赤十字有功会より義援金をお届けしました。



最後に今回の救援物資輸送の際に、大隅交通ネットワーク(垂水フェリー)様には輸送に関する協力を賜りましたことに感謝申し上げます。

- ☆救援物資☆
- ・安眠セット 100セット
 - ・緊急セット 60セット
 - ・タオルケット 100枚



「気づき、考え、実行する」力をはぐくもう



「園児のための子ども赤十字講習会」
6月26日(土) 県赤十字会館(グループワークで作成したペープサートを手に)

県内450を超える青少年赤十字加盟の保育園、幼稚園、小・中・高等学校が、実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」、態度目標「気づき、考え、実行する」の実現に毎日取り組んでいます。

この青少年赤十字活動をさらに充実させるために、今年も下記の行事が実施されました。

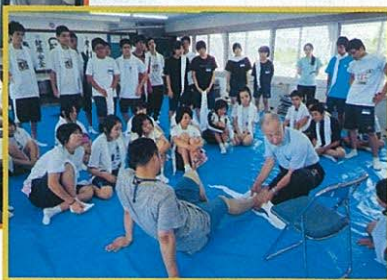
なお、平成22年11月18日(木)には、青少年赤十字研究推進校(学校法人城山学園「カトリア幼稚園」)の研究発表会も開催される予定です。



「校長・教頭・指導主事等対象青少年赤十字研修会」8月23日(月)県赤十字会館(これからの青少年赤十字活動の活性化を誓い合っ)



「小学校リーダーシップ・トレーニング・センター」
8月3日(火)～5日(木) 県立青少年研修センター(「絆をはぐくみ、広げよう」のテーマを掲げてスタート)



「中学校リーダーシップ・トレーニング・センター」8月3日(火)～5日(木) 県立青少年研修センター(健康安全プログラムで包帯法を学ぶ)



「高等学校リーダーシップ・トレーニング・センター」8月9日(月)～11日(水) 県立青少年研修センター(ヒューマンチェーンで「今日の日はさようなら」を歌い、別れを惜しむ)



「青少年赤十字指導者(担当者)講習会」8月16日(月)・17日(火) 県立青少年研修センター(これからの青少年赤十字活動の在り方を語り合う)

平成22年度

第1回 評議員会を開催しました

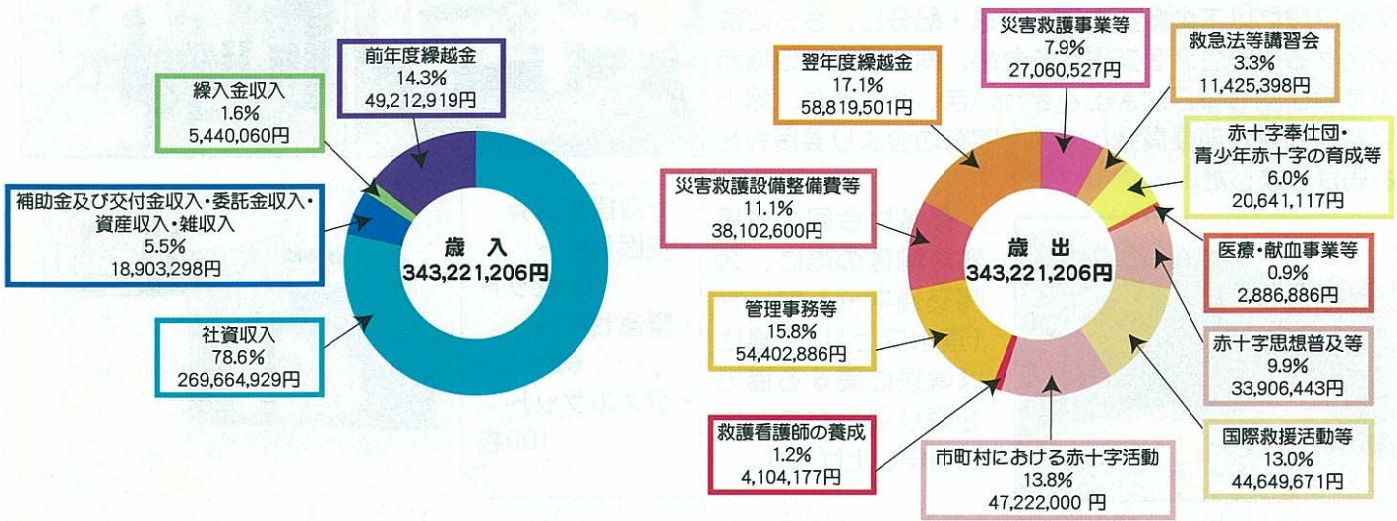
6月16日に鹿児島市内のホテルにおいて、評議員27名(うち代理出席10名)監査委員3名が出席し、平成22年度第1回評議員会を開催しました。

西中須副支部長の挨拶の後、平成21年度の事業報告及び歳入歳出決算について審議され、報告どおり承認されました。

また、7月27日で任期満了となる支部長の選出についても審議され、伊藤支部長の再任(任期3年)が承認されました。



平成21年度 鹿児島県支部一般会計決算



赤十字活動を支え親睦を図る赤十字有功会

平成22年度鹿児島県赤十字有功会総会が7月28日(水)、鹿児島市の「鹿児島東急イン」において開催され、大野芳雄有功会会長をはじめ、59人(社)が出席されました。

会に先立ちまして、赤十字事業に多大なご支援をいただきました会員物故者のご冥福を祈り黙とうを捧げました。

議事では、平成21年度有功会の事業報告及び収支決算、平成22年度の事業計画、収支予算や役員監事の選出について協議を行い、有功会の目的達成に向けた事業の推進や日本赤十字社に対する協力を一層強めていくことを決定いたしました。

続いて、記念講演では、臨済宗光明禅寺の松本憲融住職による「心のよりどころ」と題してご講演をいただき、出席者の皆さんは熱心に聞き入っておられました。

最後に、ご講演いただきました松本住職、大野会長、新会員を囲みながら懇親会を行い、親睦を深めることができました。



総会で挨拶をされる大野会長と、記念講演で熱弁をされる松本住職

夏休みの、楽しく学ぼう

キッズ献血 全国より注目

鹿児島県赤十字血液センターでは、これからの献血基盤を担う小学生児童とその保護者を中心に夏休みの自由研究を応援するとともに、献血に対する理解と献血思想の普及・啓発を図るため、夏休みの8月19日(木)20日(金)21日(土)の3日間、午前の部・午後の部計5回に分けて、「楽しく学ぼうキッズ献血」を開催いたしました。



今年度も、大変多くのご家族に参加希望をいただき、先着順により早々に受付を終了いたしました。3日間で合計231名の親子が参加し、けんけつちゃんによるアニメーション「献血のしくみ」や、「アンパンマンのエキス」を観賞したり、【キッズ献血】を楽しみました。【キッズ献血】とは、参加児童が抽選で医師や看護師・血液センター職員・献血者に扮装して献血の模擬体験をする企画です。おかげさまで大好評で、保護者も扮装したわが子を撮影したり、「アンパンマンのエキス」を見て感動したりと、親子で楽しく献血について学びました。

又、今年は、新企画として【命の授業】の中で、自分の心臓の音を聞いたり、みんなで命の大切さと助け合いの大事さについて学びました。

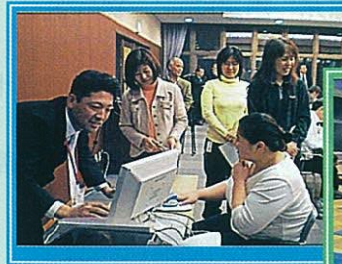
イベントの最後には、医師や看護師に扮装した【キッズ献血】の記念写真や【キッズ献血手帳】及びけんけつちゃんのぬいぐるみなどを参加記念品として持ち帰りいただきました。子供たちからは、「今回の体験で献血が大切だと気づきました。針はイヤだけど献血に参加して困っている人を助けたい」等感想を多数いただきました。この【キッズ献血】は全国初となっており、他県支部及び他県血液センターからも問い合わせをいただくなど、鹿児島から全国へ広がりつつあります。

第1回 ホリスティックヘルスアカデミーを開催

鹿児島県赤十字血液センターでは、平成22年1月から、毎週水曜日の18時30分から、13回コースで、県民(30名)を対象にした健康教室を実施しました。全人的健康づくりを目指し、酸化ストレス度の測定や体成分測定、血管年齢の測定など実施し、自分の身体の状況を理解した上でヨガやブチアロマ、運動や食養生などで、自分の目標に向かって取り組みました。終了後は、自分だけでなく、家族や周りの人、地域の人に健康づくりを広げていって欲しいと思っています。

健康づくりの概論など、知識を学んだあとに、ヨガを中心に実践できる方法を学習しました。参加したことで、友人も増え、どうしたら継続できるか意見交換もしました。今後、コースを計画し公募していきます。

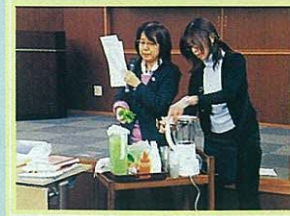
問合せ先 鹿児島県赤十字血液センター
099-257-3141 医務課迄



◀まずは健康チェックから



▲ヨガもがんばりました



◀デトックスジュースも作りました!

キャンペーン予告



11月より、下記の通りキャンペーンを計画しています。ぜひ400mL献血へのご協力をお願いします。

【Let's 400献血に行こうキャンペーン】

平成22年11月1日～平成23年1月31日迄

*400mL献血者へ「けんけつちゃんぬいぐるみストラップ」進呈

【はたちの献血キャンペーン】

平成23年1月1日～平成23年2月28日迄



Treat to Target(T2T) を知っていますか？



鹿児島赤十字病院 リウマチ科部長 大坪秀雄

鹿児島赤十字病院では、たくさんの関節リウマチの患者様を診察させていただいていますが、最近、関節リウマチの治療は大きく変わってきました。現在、ヨーロッパリウマチ学会が中心となってリウマチ治療の目標を設定し、これを世界中に公表して、より良い治療につなげようとしています。それがTreat to Target(T2T)です。

10年以上前までの薬は「効く可能性はあるが、多くは不完全な効果か、ほとんど効かない」というような薬でした。その後、多くの人が何らかの効果を実感出来るメトトレキサート等の免疫抑制剤が関節リウマチの薬として承認されました。

免疫抑制剤をしっかり使うとある程度の効果が出てくる場合が増えてきましたが、それでもまだ十分とは言えませんでした。しかし、平成15年から生物学的製剤と呼ばれる注射薬が次々と承認され、その高い効果が注目されています。

これらの生物学的製剤により、「10年後は半数が寝たきり、寿命が10年短い」と言われたリウマチの治療が大きく変わってきています。これらの薬を十分使うとそれまで壊れ続けていた関節の変化が殆どストップします。しかし、すでに壊れてしまった関節をもとに戻す力はあまりありません。ですから、必要な患者様に「出来るだけ早く、十分な治療を行う事」がとても大切なのです。

一人の患者様の治療がどの段階で完全にコントロール出来るかの予想は困難で、実際治療して効果を判定するしかありません。3か月毎くらいに治療効果を判定し、「寛解(*)」か、少なくとも低疾患活動性」という関節破壊が殆ど進行



しない状況に達するまで、次々に治療薬を調整していきましょう、というのがTreat to Target(T2T)の考え方です。

鹿児島赤十字病院では以前からこれに近い考え方で治療を進めてきていますが、まだ、広く浸透しているとは言えない状況です。

現在、世界中でTreat to Target(T2T)の考え方を専門医だけでなく一般社会にまで広めよう、という動きがあり、日本でも日本人の現状に合った方法を作成中です。

最近、医療の色々な分野で効果の高い画期的な薬が次々に開発されてきています。効果の高い薬が開発された病気では治療の目標や方法が大きく変化していく時代です。今後も「標準的な治療方法の変化」に注意していきましょう。

(*)寛解…病気の症状が、一時的あるいは継続的に軽減した状態。病気による症状が好転または、ほぼ消失し、臨床的にコントロールされた状態。



「ふれあい看護体験」を開催しました!

鹿児島赤十字病院では、平成22年8月6日(金)「ふれあい看護体験」を開催しました。目的は、「実際の看護の場を体験していただき、患者様のふれあいを通して、看護することや人の命について理解と関心を深める機会とすること」です。当院では初めての試みでしたが、高校生6名、一般1名の参加がありました。参加者はベッドサイドで患者様とお話をしたり、洗面器とお湯を準備して患者様に手浴(洗面器の中のお湯で手をあたためたり、手をきれいに洗ったりすること)を行うことで「看護」の体験をしていただきました。参加者からは、「看護師になりたい」との声や、患者様からの「ありがとう」の言葉に涙する体験者もいました。今後も毎年開催予定です。興味のある方は、当院にお問い合わせください。お待ちしております。

鹿児島赤十字病院 看護部
ふれあい看護体験プロジェクトチーム



▲看護体験をされた方々とスタッフ

特別養護老人ホーム錦江園より

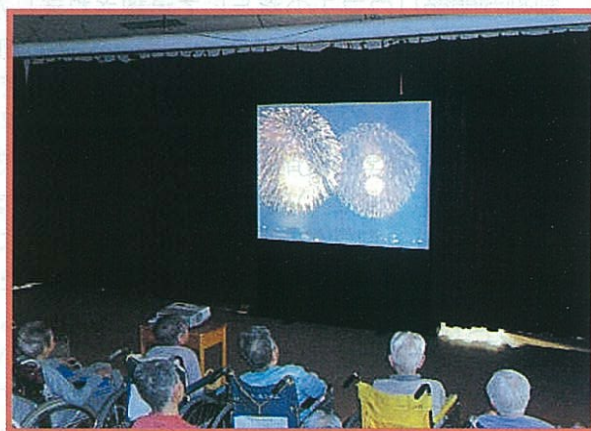


夏まつり

8月8日(日)、錦江園夏の一大イベントである「夏祭り」が今年は、「錦江園夏祭りinハワイ」と題して行われました。舞台にはヤシの木が飾られ、職員はアロハシャツ姿、利用者の皆様も髪に花を飾ったり、首からレイをかけたりとハワイ気分を盛り上げます。毎年恒例の抽選会には賞品にパイナップルが加わり、「Ka Hula O Uluanani」の皆様によるフラダンスが披露されると南国気分は最高潮で大変な盛り上がりとなりました。いつもと違う夏祭りに利用者の皆様も大変喜ばれ、楽しい夏の思い出となった一日でした。

錦江湾サマーナイト 花火大会中継

8月21日(土)、「錦江湾サマーナイト花火大会」映像ライブ中継が錦江園ホールにて行われました。錦江園の利用者の皆様は100インチの大画面を使った迫力ある花火中継がはじまると「わー」という歓声があり、次々と上がる夏の夜空を彩る花火に拍手かっさい、童心に返ったようでした。



海開き前に親子対象の講習会を開催!

鹿児島県支部は水に親しみ、水の事故から尊い命を守るために必要な知識と技術を親子で学んでいただくために7月3日(土)に鹿児島市磯海水浴場で「第1回親子DEチャレンジ!水辺のレスキュー」を開催しました。

当日、親子20組、54名の参加者は自分自身が水の事故に遭遇した際の、自分自身を守る方法(着衣泳、ペットボトルでの浮き身)や安全に溺者を救助する方法を体験したり、普段触れる機会のない救助用道具に興味津々でした。なかでも救助用ボートが一番人気で、子どもよりも夢中になっているお父さんもいらっしゃいました。

また、お昼ごはんの非常用炊き出しご飯を使用したカレーライスも大変好評でした。炊き出し袋に入れたお米があんなに美味しいご飯になるなんて!と子どもたちはびっくり、たくさんお替わりをしてくれました。

アンケートには「とても楽しい1日でした。海は波、砂、生き物がいて、また暑いなどで怖いという思いが強い子どもたちでしたが、今年の初泳ぎはとても最高の思い出となり良かったです」などの感想をいただき、当日参加したスタッフ24名はとても充実した気持ちでいっぱいになりました。

第1回

親子DEチャレンジ!

水辺のレスキュー



人気の救助用ボートに乗る子どもたち

義援金・救援金のご協力状況

国内外において発生した災害被災者を救援するため、義援金、救援金の募集を行い、次のとおり県民の皆様の温かい善意が寄せられました。

義援金・救援金の名称(平成22年受付期間)	件数	金額(円)
ハイチ地震救援金(1月31日～3月31日)	172	6,998,073
チリ大地震救援金(3月1日～31日)	82	1,871,872
中国青海省地震救援金(4月15日～5月31日)	11	293,489
広島県大雨災害義援金(7月21日～8月31日)	21	250,762
山口県大雨災害義援金(7月22日～8月20日)	32	332,310
パキスタン洪水救援金(8月4日～9月17日)	4	28,201
中国豪雨救援金(8月12日～9月30日)	11	293,489
合計	333	10,068,196

※平成22年8月31日現在



▲小林寺流空手道錬心館のみなさま

▶赤十字奉仕団鹿児島県支部委員会のみなさま



善意の高額社資ご協力ありがとうございました

厳しい状況にもかかわらず、社資にご協力いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。

平成22年4月1日から平成22年7月30日までの高額社資(5万円以上)ご協力の方々は下記のとおりです。

(敬称は略させていただきます) ※掲載につきましては、ご本人さまの同意をいただいております。

【個人】

内徳 久芳 永野 萌子
 宇都 キクエ 庭田 清和
 宇都 忠良 日置 久江
 鵜瀬 迪子 平田 鈴子
 奥園 義則 福元 吉之助
 小濱 妙子 藤岡 義道
 木下 奈利子 松元 徹
 陣尾 チミ 柳田 玉留
 竹田 忠雄 山下 峯生
 土元 輝代 吉留 始

【法人】

医療法人 彩苑会 園田クリニック 有限会社 松屋洋服店
 医療法人 南溟会 宮上病院
 鹿児島県立保健看護学校 看護科 同窓会 (五十音順)
 株式会社 アーステクノ
 株式会社 西川グループ
 株式会社 肥後産業
 知名町赤十字奉仕団
 照国神社 敬神婦人会
 納屋通り商店街振興組合
 有限会社 ふくなが商事

ご自身や故人の思いを赤十字へ・・・各種寄付金を申し受けます

近年、大切な方を亡くされた方々から「故人の遺産を社会のために寄付したい」、「自分で築いた財産を相続させた後の余剰財産を寄付したい」、「香典返しとして赤十字に寄付したい」という尊いお申し出が増えていきます。

また、遺言により自分の財産を人々に分ける遺贈も最近増えつつありますが、遺言書の内容により、遺産の受取人やその内容を指定することができます。

この遺言による方法で、財産の一部の受取人として日本赤十字社鹿児島県支部を指定いただくこともできます。
 ※遺贈を検討するにあたっては、弁護士や税理士などの専門家にご相談されることをお勧めします。

遺贈によるご寄付には、所得税や法人税にかかる優遇措置が適用されます。

詳しくは、日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

お問い合わせは

日本赤十字社鹿児島県支部 組織振興課

☎ 099 - 252 - 0600

ホームページ <http://www.minc.ne.jp/nisseki/>

代表メール shibu-rc@po.minc.ne.jp